

# メータオ・クリニック支援の会 (JAM)

## 会報メール 第 16 号 [2010 年 1 月号]

メータオ・クリニック支援の会 (JAM) 支援者の皆様

いつもご支援していただき、誠にありがとうございます。  
JAM 会報メール第 16 号をお送りします。

JAM は 2008 年 3 月に発足された NGO です。ビルマ／ミャンマーからタイへ貧困や戦火を逃れてきた人々の病院、メータオ・クリニックの活動を支援する目的で設立されました。

支援者の皆様へ JAM の最新の活動を毎月中～下旬ごろ、会報メールにて発信いたします。  
今後ともどうぞよろしく願いいたします。

### <目次> [ページ]

一般勉強会のお知らせ [2]

田辺文が雑誌に掲載! [2]

メソト・マンスリー 今月のメソトの様子をお知らせします。 (田辺 文)

- ・ [鍼診療科 オープン](#) [3]
- ・ [きょうのゆめ](#) [4]
- ・ [空飛ぶ車椅子 メータオへ](#) [4]

### 国内から

- ・ [ハイチ大地震から](#) (清水 真理子) [5]
- ・ [会員の声](#) (淵上 養子) [7]

編集後記 [7]

次号の予定 [8]

会員更新のお知らせ [8]

## 一般公開勉強会のお知らせ

メータオ・クリニックの設立経緯、概要、ビルマ／ミャンマー国境周辺の医療状況、最新の状況などを勉強する予定です。  
皆様のご参加をお待ちしています。

テーマ：「ビルマ／ミャンマー難民移民無料診療所、メータオ・クリニックの今」

日時：平成 22 年 2 月 6 日（土）午後 4 時半～午後 6 時

開催場所：JICA 地球ひろば 2 階 セミナールーム 201

交通案内：東京メトロ日比谷線広尾駅下車（3 番出口）徒歩 1 分

地図：<http://www.jica.go.jp/hiroba/about/map.html>

定員：18 名

参加費：無料

申し込み方法：メールにて（先着順）

尚、参加ご希望の方は、メールにて  
題名を「2 月 6 日の一般公開勉強会参加希望」とお書きください。

本文に

①お名前

②所属先

③ご連絡がつく電話番号、メールアドレス

④この勉強会をどこで知ったか（JAM 会報、ホームページを見た etc）をご記入の上、  
support@japanmaetao.org に送信してください。

会場の広さの都合で申し訳ありませんが、定員になり次第、受付を終了させていただきます。  
ご了承ください。（担当：梶）

## 田辺 文が雑誌に掲載！

### 第 1 弾『サンデー毎日』で紹介されました！

『サンデー毎日』1 月 17 日増大号で

「国境の病院にてータイ・メーソット メータオ・クリニック支援の会 田辺文さん」として紹介されました。

記事は巻頭グラビアに 3 ページにわたって豊富なカラー写真とともに登場しています。

表紙は、女優：上野樹里さんです。

## 第 2 弾 『文藝春秋』 にも載りました！

文藝春秋 [2010 年 02 月 01 日号]にも出ています。

「最後のタイ残留日本兵」が死んだー自責の念と望郷の思いに揺れた元日本兵  
という記事です。タイ残留日本兵だった中野弥一郎さんが亡くなった後、取材を受けました。  
ちょっとだけ（名前程度ですが・・・）載っています。

## 第 3 弾 『BAILA』 でも紹介されました！

最新号「女性誌 BAILA2 月号」にも、掲載されています。  
こちらは、白黒のページですが、ただいま、店頭で販売中です。ぜひご覧ください。

### メソト・マンスリー

今月のメータオ・クリニックの様子をお届けします。

【メソト（タイ北西部）＝田辺文】



## 鍼診療科 オープン

メータオ・クリニックでは、2 年前および昨年、カナダより鍼治療師のボランティアを迎え、鍼治療トレーニングコースを設けました。その後、受講生により主に疼痛緩和目的で、少数の患者さんの治療を続けてきました。そして昨年 12 月、ドイツより鍼治療師の長期ボランティアを迎え、この 1 月より正式な鍼治療科としてオープンすることが決定しました。

治療疾患も、急性症状を含め全身のあらゆる疾患に対応します。他科で下された診断に基づき治療を行い、改善が見られない場合、またもとの科で診療を続けるという形で、各診療科との連携を強めていきます。

メータオ・クリニックでは、医療資源の制限から、治療できる疾患が限られています。設備が整った病院であったら提供できる治療を為すすべなく患者さんを返すことは、患者さんにとってだけでなくスタッフにとっ

ても大きな負担でした。

これまで得ることができなかった多くの疾患への治療という選択肢を、安価で提供することになった鍼治療科。患者だけでなくスタッフにとっても一筋の光となっていくことでしょう。

(写真：鍼診療科スタッフ)



## きょうのゆめ

今月は、 ヤン・ニー・ウー君 9 歳 です。

ビルマ／ミャンマーのミャワディーから車で 4 時間のところに住んでいます。  
お父さんとお母さんとお兄さんとお姉さん、お婆さんと従兄弟 7 人家族です。  
お父さんの具合が悪くなって、ミャワディーの病院に行ったら 30000 チャット (約 3000 円)

かかると言われ、払えなかったのでメータオ・クリニックに来ました。  
お兄さんとお姉さんは働いているので、僕がお父さんの看病をすることになりました。

病院はたくさん人がいて楽しいし、学校休めるのでラッキーです。  
大きくなったら、警察官になりたいです。これはお父さんには内緒。  
そんなのダメだって怒られるから。理由は威張れるから。

いつも仕事を手伝ってくれた元気で人懐こい男の子でした。  
威張らない優しい警察官になってほしいな。



## 空飛ぶ車いす メータオへ

「空飛ぶ車いす」がメータオに届きました。日本社会福祉弘済会が支援する「空飛ぶ車いす」(<http://www.nisshasai.jp/soratobu/index.html>)は、日本で使われなくなった車椅子を工業高校生が修理した上、アジアへの旅行者の手で必要な人へ届けるとい、まさにボランティアのリレーです。

日本の病院で使われる車いすは、責任の所在を恐れ、なかなか修理がされないのが現状。  
しかしまだ使えるものが多くあります。



今回、車椅子が届けられたのは、37 歳男性 (写真)。ビルマから出稼ぎに来て作業中に転落。腰部脊髄損傷によって下半身麻痺という障害を負いました。車椅子は解決にはなりません、家族の身体的負担と、本人の心の負担を軽減します。4 人の子どもを抱えて、今後の生活のあてはありません。ビルマに帰り、しばらく妻の親戚の家に身を寄せるつもりとのことです。

修理されて運ばれてきた車椅子を使って、「こんなよいものを捨てるなんて日本はすごい国だ。怪我をしなければいつか行って見たかった。」と語りました。

下記は、JAM のメンバー淵上 (大島) 養子さんがベトナムへ車椅子を運んだときの記録です。  
[http://www.nisshasai.jp/soratobu/v1\\_taiken/taiken\\_oshima.html](http://www.nisshasai.jp/soratobu/v1_taiken/taiken_oshima.html)

★★ 日々、更新中! ★★ ぜひ、ご覧ください。

**Borderless Border's (田辺文のブログ)** <http://www.japanmaetao.org/blog/borderless/>

メータオ・クリニック支援の会ホームページにアクセス ⇒

活動・レポート・PR 方法 ⇒ 「現地からのレポート」 Borderless Border's

国内から

## ハイチ大地震から

【東京＝清水真理子】

### 1. はじめに

明けましておめでとうございます。本年もよろしく申し上げます。

私は JAM 設立当初から国内の事務のお手伝いをさせていただいています。

JAM で活動するきっかけになったのは、私が以前働いていた職場で、代表の小林先生はじめ他スタッフ達と知り合い、NGO の設立に興味があったからです。

はじめは何もかも手探りの状態でしたが、医療関係者以外のスタッフも活動に参加してくれるようになり、また皆様たちのようなたくさんの方の会員さん達に寄付を頂き、温かい励ましの言葉によって、現在活動が続けられています。この場を借りて感謝申し上げます。

「NGO でボランティアをしている」と言うと「偉いね、すごいね、私は無理だな」等言われることがありますが、私自身は偉くもすごくもなく、ただ自分にとって楽しいと思うことを出きる時に出来る範囲でやっているに過ぎません。皆様はいかがですか？

### 2. ハイチ大地震

2010 年 1 月 12 日午後ハイチ首都近郊で M7.0 の地震がありました。

犠牲者は 20 万人にも昇るといわれています。国際赤十字によると被災者は国民の 3 分の 1 に達する (300 万人) と推定されています。しかし、国連事務所までもが崩壊しているため、正確な被害状況が今尚把握できていないのが現状です。

皆様は、このニュースで何を感じましたか？



私は以前、中米に暮らしていたことがあります。ハイチには行ったことはないのですが、隣島のキューバ、隣国のドミニカ共和国には訪れたことがあります。現在もドミニカ共和国には親しい友人が暮らしています。ですから、地震のニュースを聞いた時、一番初めには「友人は無事だろうか？」と感じました。

「ハイチ」と聞いてすぐに正確な場所を把握できる日本人はどのくらいいるのでしょうか。

私はたまたま中米で暮らしていた経験があるので、ハイチ大地震のニュースを聞いて、「日本の裏側の小さな島で大地震があったらしい」と、翌日には違う話題で流されていくニュースではなく、「友人は無事だろうか。あのような最貧国であれば、被害後は悲惨な状況になっているだろう。」と、とても身近なニュースに感じ、翌日から「現在のハイチの状況は、どうなっているのだろうか」「日本の援助は入るのだろうか」等、今なお、気になるニュースとして常に頭にあります。

中米の国々の街並みは似ているところが多く、地方の家々は土壁で作られ首都や地方でも少し裕福な人の家はブロックを積んだ家に暮らしています。私自身もブロックを積んだ家に暮らしていました。もともと雨漏りは普通で使用可能な電気や水もかなり限られていました。先進国でしか暮らしたことがなかった私は、はじめとても不便に感じたのを思い出します。

そのように、インフラが整ってなく、また建物も不安定な最貧国で大地震が起きたらどう



なるでしょうか。

家々は簡単に崩壊し、物資を届ける手段もなく被災者は増え続け、人々はとても辛い思いをしているのは、容易に想像できるでしょう。

日本からは、緊急無償資金協力、緊急援助物資、国際緊急援助隊医療チームの派遣、赤十字医療チームの派遣などが行われています。その他、アメリカ、ヨーロッパ、中国などの国々が人道支援に入っています。一刻も早く支援が行き届き、少しでも多くの人々が救われ、平穏な日々に戻る事を祈るばかりです。

ちなみに私の友人が暮らす隣国のドミニカ共和国には被害はありませんでした。友人がすむコミュニティでは、ハイチ大地震について連日ニュースがトップに流れ、寄付金をはじめ、医療品や衣類、食料や水の寄付を学校に集めているということでした。友人自身も学校に支援物資を持っていったところたくさんの支援物資が集まっていたそうです。



### 3. 外国で暮らす

皆さまは外国生活をおくったことがありますか？

グローバル化している今日、様々な理由で外国に暮らした事がある人は少なくないと思います。私自身も、中米とヨーロッパに暮らした経験があります。今回のハイチ地震に関して、もし私が中米に暮らしていなかったらここまで情報が気にならなかったのかもしれない。

JAM の会員になってくださった皆様はいかがでしょう？

会員になってくれた理由にメータオ・クリニックに行ったからという人もいるでしょう。タイに暮らしていたという方もいるでしょう。同じアジアとして身近に感じられるからという人もいるでしょう。

外国で生活するということは、その国に友人が出来、その国が生活の場になるということです。初めは異文化に戸惑うこともあります。その地に住む人々たちの手助けがあるからこそ徐々に適応することが出来るのだと思います。私は途上国の人々は貧しくてかわいそうだとは思いません。私が暮らした中米に住む人々たちは物資やお金は十分になくても、とても前向きで、外国人である私に存分に親切にしてくれる心の豊かさを持ち合わせていました。外国に暮らし、その国の文化や習慣を知るといことは、人間の価値観をより広いものへとしてくれるのではないのでしょうか。

私自身、外国暮らしを経験する前と後では、確実に自分の中で何かが変わったと思います。例えば電車でご年配の人に席を自然に譲れるようになりました、電気や水をむやみに使い過ぎないようにになりました、自分で出来るエコを考えるようになりました、家族で過ごす時間をとても大切に思えるようになりました等など外国生活での経験は現在の自己を形成する上で多くの影響を受けていると考えます。

### 4. おわりに

冒頭でも述べたように、ボランティアをしているというのは全く偉くも特別でもないと思っています。それは私自身が異文化にふれることが楽しみで、結果自分自身の自己啓発につながると感じているからではないのでしょうか。与えるものより得るもののほうが、圧倒的に大きいのです。

JAM の活動を支援して下さる皆様は、どんな気持ちで寄付をしてくださっているのでしょうか。この NGO 活動を手伝うことにより、遠くはなれた国の人々の健康を祈り支援したいと思っている人達がたくさんいることがわかりました。

国内では暗いニュースばかりが報道されていますが、謙虚で思いやりのある皆様のような

日本人にたくさん出会うことが出来たのも、この活動を続けてきたならではだと思っ  
ています。どうぞこれからもよろしくお願いします。

## 会員の声

【東京＝淵上 養子】

2009 年の年末、スタッフにとって嬉しいニュースがありました。  
宮崎県にお住まいの中学生から学生会員の入会希望があったのです。  
私たちが確認できる中で最年少の会員であり、どのようなきっかけで JAM に関心をも  
ってくださったのかを教えていただきたく、連絡を取りました。  
ご本人の許可を得てここでご紹介させていただきます。

久峯俊太さん（12 歳）は現在、宮崎市内  
の中学校に通っています。

JAM に関心を寄せたきっかけをうかが  
ったところ、なんと既にメータオ・クリニ  
ックを訪ねていたことがわかりました。

2009 年の 2 月、SVA（社団法人 ショ  
ンティ国際ボランティア会）のモニタリングツ  
アーにお父様と参加し、メータオ・クリニ  
ックを訪問したそうです。そこでスタッフの話  
を聞き、日本とはまったく違う環境に驚いた  
そうです。その記憶がずっと心に残っていて、  
最近学校の授業で「義足をアフガニスタン  
へ」という話を習い、自分でできることはな  
いかと考えたとき、メータオ・クリニックの  
ことを思い出したそうです。そして、JAM  
に参加しようと決意されたということです。

俊太さんのお父様は普段からボランティ

アでサッカー少年団の指導者をつとめたり、  
SVA の絵本を贈る運動に協力しており、  
「そのような姿をみて自分も何かやってみ  
たいという気持ちを持ったのではないかと  
お父様からコメントをいただきました。熱心  
に奉仕活動をされているお父様の存在が俊  
太さんの心に「いつか自分も」という気持  
ちを芽生えさせていたのですね。

若き支援者との出会いにスタッフ一同、心  
温められ大きな励みとなりました。

私たちスタッフも皆、「何か自分のできる  
ことはないか」という想いから集まった仲間  
たちです。支援者の皆様と気持ちは同じです。

会員の皆様とともに JAM はこれからも  
活動を続けていきたいと思ひます。

今後も支援者様のお顔や声をできる限りご紹介させていただきたいと思ひます。

お声かけの際はご協力をお願いいたします。

俊太様、会員の皆様、本年もよろしくお願ひいたします！

## 編集後記

年明けそうそう、大変ありがたいことに JAM からメータオ・クリニ  
ックに派遣中の田辺が雑誌に掲載していただく機会が続きました。

なんとまあ、びっくり続けて 3 件です。

今まで、前任の梶が新聞やテレビに出たことはありましたが、雑誌に JAM  
のことが載るのは初めてのこと。

私は、とっでもうれしくなって自分の家族や友達に「見て！！」と言ひふ  
らしました。

「はい、読み終わった？そしたら、次、これ見てな！そのあと、これもね！」なんて、3 冊ま  
めて見せちゃったりする始末です。



もちろん、全員、直接、田辺のことなんて知りません。まず、そこから説明です（苦笑）

実は、もう田辺が掲載されたサンデー毎日毎日は週刊誌なので店頭には並んでいませんが（皆さまにお知らせするのが遅くなって本当にごめんなさい・・・）、図書館や病院などの待合室などで見る機会があれば、ぜひ見てください！！

なんとですね！！

**表紙を飾った上野樹里さんよりも  
田辺のほうページ数が多い** のですよ♪♪

→えっ？田辺と首相夫人が見つめあってる・・・？！



ちなみに、最近、

**JAM のホームページも、リニューアルしましたー！**

どの写真が変わったか、気づいていただけましたか???

## 次号の予定

次号の JAM の会報は、2 月中～下旬ごろ発行の予定です。

ホームページは、随時更新していきますので ぜひ、お時間があるときにご覧ください。

## 会員更新のお知らせ

1 年間 JAM の活動を応援してくださり、誠にありがとうございました。

皆様の会費と寄付に支えていただき、私たちはメータオ・クリニックの院内感染予防活動および移民学校における保健活動等、事業を展開することができました。今後も現地の保健医療サービスの向上により、ひとりでも多くのビルマ/ミャンマーの人々が心身ともに健康的に生活することができるよう、尽力してまいります。引き続き JAM の活動をご支援いただきたく、ご賛同いただける方は会員更新の手続きを宜しくお願い申し上げます。

**会員更新のお手続きの対象となる方には、  
先月、会員特典としてお送りいたしましたカレンダーと一緒に  
「更新のご案内」を同封しておりますのでご確認ください。**

なお、更新を希望されない方につきましては、手続きは不要です。またご支援いただける機会をお待ちしております。

## 賛助会員 更新手続き（年会費入金）の方法について

### ■更新手続きの対象となる方

2008 年 10 月～12 月までに賛助会員となられた方

■対象となる方で更新を希望される方は下記年会費を郵便振込先へご入金ください。





